

带状疱疹ワクチン

これまで带状疱疹の予防には水痘生ワクチンが使用されていましたが、2020年より、新たに不活化ワクチンであるシングリックスが導入されました。

シングリックスは従来の水痘生ワクチンに比べて発症予防効果が高く、効果の持続期間も長くなっています。また、水痘生ワクチンは、免疫機能の低下している方への接種ができませんでしたが、シングリックスは不活化ワクチンのため安全性にも優れており、免疫機能の弱った方でも接種が可能です。

当院では上記2種類のワクチンを取り扱っています。どちらのワクチンにもメリット・デメリットがありますので、下記の比較表を参考にご検討ください。

接種をご希望の方は、電話または受付にてご予約をお願いいたします。

	弱毒生水痘ワクチン(ビケン®)	シングリックス®
種類	生ワクチン	不活化ワクチン
予防効果	約 50%	90~98%
神経痛の予防効果	約 67%	約 90%
持続時間	5 年程度	9 年以上 (新しいワクチンのため研究中)
副反応	接種部位の軽度痛み・腫脹・発赤	接種部位の中等度痛み・腫脹・発赤、 筋肉痛、倦怠感、頭痛 (水痘ワクチンより副反応が強くなる 可能性あり)
禁忌	免疫抑制状態の方 妊婦 抗生剤アレルギーのある方	不相当者なし
適用年齢	50 歳以上	50 歳以上
接種方法	皮下注射	筋肉注射(2 回接種)
費用	9900 円	22000 円/回
長所	・費用が安い ・接種回数が 1 回	・予防効果が高い ・免疫が低下していても接種可能
短所	・効果が劣る ・免疫が低下している方は摂取 できない	・接種費用が高い ・接種回数が 2 回 ・副反応発現率が高い